

令和6年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	スポーツ心理マネジメント特論 B	担当教員	竹内成生		
	英語授業科目名	Management of sport psychology B	単 位	2	学 期	後期
対象年次	1・2年次	クラス指定	スポーツ/健康領域に関係する学生	他との関連	スポーツ心理マネジメント特論 A	
履修条件	スポーツ心理学に関する知識と電気生理学に関する基礎知識を有することが必須である。					
テーマ・副題						
授業の教育目的・目標	スポーツに関連したさまざまな心理的現象について、その生理心理学的基盤の詳細を理解し、いかにしてマネジメントすべきかを自身で考察可能になることを目標とする。					
授業の理解度の到達目標	スポーツ場面で生じる心理的变化が、どのような精神生理学的機序によって生じるのかを理解し、有効なマネジメント方法についてテキスト・論文の輪読を進めながら議論する。また、紹介論文にもとづいて再現実験をおこなうこともある。この過程を通じ、マネジメント手法を精神生理学的観点から考察可能となることを到達目標とする。					
授業キーワード	スポーツ心理, 生理, 末梢・中枢神経系					
授業の内容	スポーツ心理学に関連したテキストや論文を輪読・議論することによって理解を深める。					
授業の方法	15回の講義前半はスポーツ精神生理学に関する所定のテキストの範囲、後半では英文論文を事前にレジュメとしてまとめ、発表・説明してもらう。その後、議論し、理解を深めていく。					
授業展開	1. 受講ガイダンス 2. テキストの輪読 (スポーツ精神生理学とは) 3. テキストの輪読 (脳と神経) 4. テキストの輪読 (認知の生理学的機序) 5. テキストの輪読 (動作発現機序) 6. 英文論文の輪読 1 (論文は打ち合わせで決定) 7. 英文論文の輪読 2 (論文は打ち合わせで決定)			8. テキストの輪読 (自律神経活動の研究方法) 9. テキストの輪読 (脳波と事象関連電位による認知機能研究) 10. テキストの輪読 (運動の発現に関わる事象関連電位) 11. テキストの輪読 (スポーツにおける運動イメージと脳活動) 12. テキストの輪読 (スキル動作の精神生理学) 13. 英文論文の輪読 3 (論文は打ち合わせで決定) 14. 英文論文の輪読 4 (論文は打ち合わせで決定) 15. 講義のまとめ		
成績評価方法	受講態度 (20%) 授業内発表 (30%), 最終課題 (50%) により評価する。					
成績評価基準	総合して 80 点以上は A, 79-70 点は B, 69-60 点は C, 59 点以下は不合格とする。					
テキスト	山崎勝男監修 スポーツ精神生理学 西村書店 (ISBN-13: 978-4890134298)					
参考図書	必要に応じて授業中に指示する。					
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	テキストは該当範囲を受講前に読み、レジュメを用意すること。また、最新の研究動向を把握するための情報が豊富であるため、論文紹介では英文を選択すること。十分な時間を費やし、事前にレジュメを作成しておくこと。					
学生へのメッセージ	講義への積極的な参加に期待します。					
オフィスアワー	授業前後の時間					
連絡先	電話番号	0270-32-1011	内線: 1705	メールアドレス:	tshigeki@ic.jobu.ac.jp	
人数制限	なし					